

令和8年6月1日

保護者の皆様
地域の皆様

江東区立第二亀戸小学校
校長 飯川 浩二

令和8年度開校115周年記念「運動発表会」保護者アンケート結果

アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。本当にたくさんの温かいお言葉をいただき、教職員一同、大きな励みとなっております。いただいたご意見は、来年度開催に向けた貴重な参考とさせていただきます。

今年度のアンケート結果を拝読し、これまで以上に本校の運動発表会の実施方法を好意的に受け止めてくださる保護者の皆様が増えたことを、大変嬉しく思っております。競技数の増加や勝敗競技を求める声、保護者の皆様の譲り合いに関する改善のご要望などもある一方、「こども主体」の運動発表会への移行、短期間での効率的な練習、教職員の取り組み姿勢、テント設置などの熱中症対策について、高い評価をいただきました。特に「踊り込み」をはじめとする、こどもたちの主体的で「やってみる」姿がたくさん見られたというご感想が多く、こどもたちの成長を温かく見守っていただいていることに心より感謝申し上げます。また、「学校行事は保護者のためではなく、こどもたちのために行ってほしい」というご意見も増え、本校の学校経営および「こども教育目標」の趣旨に、多数のご賛同をいただきましたことも重ねて御礼申し上げます。

終了後のテント片付けでは、PTA役員の皆様をはじめ、昨年以上に大変多くの皆様に自発的にご協力いただきました。今年度から高学年の短距離走を100mに延長したことで、閉式時刻が20分ほど遅くなってしまいましたが、皆様のおかげで、こどもたちの下校時間に重なることなく13時過ぎには撤収を完了することができました。教職員の働き方改革へのご理解とご協力に、深く感謝いたします。

来年度以降も、運動発表会の日程は近隣中学校との調整が必要になりますが、今年度は熱中症対策を鑑み、例年より1週間早く実施いたしました。授業時数が限られ、練習計画はさらにタイトになりましたが、事前の暑さ対策を含め、大きなトラブルなく進めることができました。残念ながら、児童運動発表会（平日開催日）は延期日も雨天に見舞われ、縮小しての開催となりました。しかしながら、この二日間開催の形式についても多くの保護者の皆様から支持をいただいております。振替休業日明けには、延期していた「大玉送り」を行い、校庭は大いに盛り上がりました。またリレー競技については、6月1日のMEET朝会で保護者鑑賞日のビデオを全校で視聴したほか、事前にはリレー選手応援集会を開くなど、こどもたちの発信で大会を盛り上げることができました。天候による実施・延期の判断は毎年苦慮するところですが、原則として「できる限り前日に決定する」方針の下、今後も安全を第一に判断してまいりますので、ご理解いただけますと幸いです。

6年生の「組体操」では、全員が靴下を履くことや、必要に応じて膝サポーター等の着用を推奨するなど、やけど・ケガの防止対策を行いました。これについては多くの好意的な受け止めをいただいております。一部の保護者の皆様から「危険ではないか」「簡単すぎるのではないか」という双方のご指摘をいただきましたが、今後も国・都・区のガイドラインを遵守し、ピラミッドやタワーなどの集団技で「高さを求める」ことはいたしません。校長の承認のもと、スモールステップで安全かつ計画的に指導してまいります。

プログラムの最後を飾る「二亀音頭」では、昨年度以上に多くの保護者の皆様にご参加いただきました。撮影されている方も周囲への配慮を怠らず、一緒に踊ってくださる輪が広がっていく様子が印象的でした。熱気あふれる少しカオスな閉会式ではありますが、こどもたちのすぐ近くで、その頑張りにたくさんの拍手を送っていただけたことが、何よりもありがたく、嬉しい瞬間でした。来年はぜひ、さらに多くの保護者の皆様も、こどもたちから音頭を教わって一緒に輪に加わっていただければ幸いです。

今年度も異学年交流として、きょうだい学年でメッセージを送り合う活動を行いました。各教室前に掲示してありますので、学校公開の際にぜひご覧ください。

